

令和3年度 開拓精神 No.12



生徒・保護者の皆様のご協力に
感謝申し上げます

これまでの保護者の皆様の的確で速やかな学校への連絡と相談、感染症対策への深いご理解とご協力、誠にありがとうございます。現在「まん延防止等重点措置」が長野県で実施され、更なる感染症拡大への警戒が呼びかけられています。引き続き以下のことについてよろしくお願いします。

- ◆ 生徒にかぜ症状があるとき、ご家族にかぜ症状があるとき、ご家族が「濃厚接触者」となったときには、登校を控えていただく様お願い致します。
- ◆ 生徒、ご家族が新型コロナウイルスに関わって、検査や保健所の指示を受けたときは、速やかに学校に連絡をお願い致します。
- ◆ 朝の検温等の健康観察の徹底、マスク着用・手洗い・うがい・換気の励行、感染拡大地域への不要不急の訪問の自粛等感染症対策をお願い致します。



施設的に全学年というわけにはいかないのですが、進路決定の時期を迎えている3年生は、今月の初めから普段使っている教室よりもより広い空間が確保できる特別教室を授業会場として使います。普通教室よりも少しでも「密」を回避し、感染症対策を行いやすいことをね

らっています。また、下校時は生徒昇降口周辺が密になりやすいため、現在「時差下校(5分ずつ)」とし、職員が昇降口で下校を促すことと併せて、密が回避できるよう指導を行っ



ております。清掃についても床のぞうきがけは行わないこととし、掃き掃除、机や戸、壁等の拭き掃除を中心としています。給食時は全員がマスクを外す重要な場面ですが、以前からの継続で、前を向いて黙食でとるようにしています。他の対応も含めて感染症対策も大分長期に渡っていますが、これまで行ってきました感染症対策を気を緩めることなく継続し、また生徒の意識喚起も継続して行い、この状況を乗り切れるよう努めて参ります。今後ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

3 学期始業式 学年代表者意見発表

前号では1月 7日に行われた3学期始業式での校長講話を紹介しましたが、同時に各学年の代表者3名の意見発表もありました。今回はその 3 名のスピーチを紹介します。3 人とも最後の学期となる3学期に向けての抱負を全校の前で堂々と語ってくれました。

1年 K Y さん

三学期の目標

私には、三学期の目標が3つあります。

一つ目は、自分の納得のいくテストの点数をとることです。初めてテストを行ってから、二学期に行ったテストまでで、5教科の合計点数が上がるのではなく、大幅に下がり、自分の納得のいく点数が取れなくなっていました。なので、授業態度を見つめ直し、分からない問題は、自分が理解するまで解き続けるなどをして、目標達成できるように努力していきたいと思います。

二つ目は、最後まで諦めずに取り組むことです。私は数学の授業で難しい問題が出ると、自分では解けないと考えるのを諦め、すぐ友達に助けを求めてしまいます。なので、三学期からは、なるべく友達には聞きに行かずに、自分の力で一生懸命問題に取り組んでいきたいと思います。

三つ目は、1年生最後の学期を全力で楽しむことです。進級して2年生になるとクラス替えがあります。今のクラスの友達全員と同じ時間を過ごすのは、残り少しなので、限られた学校生活の中で、クラスの友達とより仲を深めながら、楽しい時間を過ごしていこうと思います。

私はこの3つの目標を持ちながら、充実した3学期を過ごしていきたいと思います。

2年 K Sさん

3 学期に向けて

2学期では、みんなで団結して頂上を目指す登山がありました。コロナ禍で行事が中止になることが多く、一年間を通して制限されることもありましたが、頂上に行くまでのつらい状況の中でも2年生のみんなで達成することが出来たことは、僕にとってとてもいい経験になりました。

そして、2学期といえばアカシア祭がありました。僕は、科学部で仲間達とロケットを制作していて、アカシア祭でロケットを打ち上げるために、計画や準備、そして制作ととても忙しいスケジュールの中でアカシア祭に間に間に合わせる事ができました。アカシア祭当日も見事にロケットを打ち上げることが出来て、とてもうれしかったです。

そして、3学期では2年生の最後の学期として、1学期や2学期で経験してきたことや学習の面でもまとめとしてしっかり取り組んでいかなければなりません。3学期は3年生と過ごす最後の学期なので、今までお世話になった先輩方に感謝の気持ちを忘れずに、楽しく過ごして行けたらいいなと思います。

いよいよ4月からは僕たちが3年生となり、在校生を引っ張っていく立場になるので、部活や学

習面でも気を抜かずがんばっていききたいと思います。

3年 TH さん

3 学期の決意

僕はあと二ヶ月と少し経てば中学校を卒業します。4月からは高校生です。僕には、高校に行くために不十分なところがあります。

一番直したいことは生活態度です。中一から今までよいとは言えない学校生活でした。今のままでよくないと思います。なので、あとちょっとしかありませんが、授業は寝ない、話を最後まで聞く、挨拶は自分から、いけないことをしている人に注意するなど、当たり前のことを当たり前にし、高校に選んでもらえるような人物を目指していきたいです。

次に直したい所は、勉強です。僕は今までテスト勉強をまともにせずテストを受けていました。結果は当然悪かったです。いざテスト勉強をやりようと思っても5分もすれば止めてしまっていました。来週テストがあります。一時間、二時間とテスト勉強が続くように休憩を入れたりして、テストの点を下げないようにしたいです。

また、2 学期までは保健委員会の副委員長として活動してきました。3 学期は 3 年生として 2 年生の生徒会を見守りながらも役に立ち、お世話になった長峰中に何かしらの恩返しをしていききたいと思います。

このことを中学卒業まで意識して、高校に行って成果が出るようにがんばりたいです。



がんばれ 小池 克典 先輩!

本校の卒業生である、小池 克典選手が今行われている「北京2022オリンピック」にショートトラックの日本代表として参加をしています。私たちの先輩が、この校舎で学んだ先輩が、同じこの地域で育った先輩がこうして「オリンピック」という大舞台に立っていることを本当に誇らしく思います。

そんな誇るべき先輩に、少しでも激励の思いを届けたいということで、生徒昇降口の正面に、「小池克典選手の紹介ボード」をつくり、また、2年生の協議会メンバーが中心になり、「寄せ書き」を全校生徒・職員でつくり、送りました。

寄せ書きは、日の丸に、本校の小林美術科担当が、文字、イラスト、似顔絵を描き、そこに学活の時間等を使い、全員で激励のメッセージを書き入れました。

小池選手は、もちろんオリンピック直前で茅野に戻ってくることなく、調整中でしたので、お母様にお声がけをした所、

快く長峰中学校を訪問してくださり、中心になって進めた2年の協議会の生徒から激励の言葉と共に、寄せ書きを手渡しすることが出来ました。お母様からは、「このような素敵なものをつくってくださりありがとうございました」とのお言葉をいただき、小池選手の元に届けてくださると





おっしゃっていただきました。また、寄せ書きの写真を小池選手に送った所、後輩達からの寄せ書きを喜んでいたということも教えていただきました。

すでに小池選手はショートトラック

クの500mと5,000mリレーに出場しています。「決勝進出」「メダル」という結果ではありませんでしたが、世界のアスリートの憧れの場所に初めて立ち、実際に精一杯に競技をしたというこの経験は、これからの小池選手の大きなエネルギーになる、そんな滑りでした。その精一杯の姿に、私たち長峰中にいる全員が、大きな勇気や努力の素晴らしさ、そして夢は叶うという大きな大きな希望をもらいました。

小池 克典選手、本当にお疲れ様でした。これからの更なる活躍を期待しています。



奉仕の精神 雪かき ありがとう

長峰中学校生徒会の「3本柱」は「清掃」「挨拶」「奉仕活動」です。今月に入り、雪の降

る日が増え、ついに先日は今年一番の大雪が降りました。この大雪のときはもちろんそうですが、大雪でなくても雪が降ったときには、生徒が雪かきをしてくれます。

早めに来た職員が雪かきをしていると、来た生徒が次々に雪かきを持って様々な場所の雪かきをしてくれます。学年や男女関係なく、たくさんの生徒が雪かきをやってくれます。雪かきの数に限りがあるので、やりたい人全員が出来るというわけではないですが、朝早くからの「みんなのために」という「奉仕」の精神での雪かきの姿は、見ていて爽やかな気持ちになります。生徒のみなさん、ありがとうございます。



今年、これで、そろそろ雪が積もることもなくなっていくと思いますが、この「奉仕」の姿は、お互いに学校生活の様々な場面で発揮したり、活かしたりしていきたいですね。

「みんなのために」をこれからも大切にしていきたいと思います。



生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立長峰中学校
〒391-0013 茅野市宮川 11288
担当 濱 喜一郎(教頭)
電話 72-4108
FAX 72-4109